



プロフェッサー講座 受講生募集案内

【平成26年4月開講】

No.	テーマ	講座数	講師名	講座概要
1	「世界中が不安な時代」の生き方	3回	浅井 泰範 武蔵野大学 元教授	いま、世界は不安がいっぱいです。人びとは、おびえ、いらだち、不満を爆発させています。日本も例外ではありません。みなさん、この時代にどう向かい合いますか。 ※学習院大学でも超満員の講座講師として有名です。
2	「漢方薬」と配合される「生薬」 ～多面的な作用と特徴～	6回	山田 陽城 北里大学 名誉教授 三巻 祥浩 東京薬科大学 教授 黒田 明平 東京薬科大学 講師	漢方薬は、現代医療の中で重要な役割を果たしています。漢方薬と新薬との相違、漢方薬に配合される生薬の役割、漢方薬の作用メカニズムや作用成分等について、その基礎から最前線までを紹介します。 ※7月は東京薬科大学にて実習も行います。
3	ゼロ 「倒産0」の身の丈起業	3回	前田 隆正 電気通信大学 客員教授 SOHO CITY みたか推進協議会会長	三鷹市を中心に潰れない起業を支援していて、現在は約500社になりました。若者でも主婦でも、潰れない「起業」をすることができます。 ※「SOHO」とはSmall Office Home Officeの略称です。
4	日本の「さくら」と 身近な植物	6回	石川 晶生 玉川大学 名誉教授 樹木医	「さくら」は春の訪れを知らせてくれる使者であり、我が国を代表する花です。その野生種や園芸品種、また身近に見られる植物の話をしながら自然に親しみたいと思います。
5	「音楽」ってなんだろう	6回	高須 一 玉川大学 教授	いろんな音楽を楽しんでいけるように、様々な音や音楽に触れながら、音楽っていったいなんだろうということを知覚的にだけでなく感覚的にも“楽しく”理解していきます。
6	〈特別企画連続講座〉 市民のための「地震防災」	6回	鈴木 浩平 首都大学東京 名誉教授 ほか4講師	東日本大震災から早くも3年になります。近い将来に来襲が予想される巨大地震に対し私たち市民が知るべきこと、なすべきことを地震防災の各分野の国内第一人者の講師陣が平易に解説します。
7	〈7月開講講座〉 「江戸の文化」 ～美術・芸能・洛中洛外図屏風～	3回	安原 真琴 立教大学 兼任講師	日本には海外に誇る「日本文化」がたくさんあります。知っているようで知らない日本文化（絵画・芸能等）の奥深さを味わいましょう。 ※7月・8月・9月の講座です。

募集期間 平成26年1月15日(水)～先着順

※2月18日にいったん締切りますが、定員に余裕がある場合には、開講後も受講できます。

問合せ先 いなぎICカレッジ事務局（稲城市教育委員会 生涯学習課）

〒206-0803 稲城市向陽台4-6-18 城山体験学習館内

tel.042-370-2822 fax.042-379-3665

いなぎICカレッジホームページ <http://www.inagiic.net/>

講座 No.1 「世界中が不安な時代」の 生き方

〈講師〉 浅井 泰範 武蔵野大学 元教授

〈講座内容〉

地球温暖化、放射能汚染、テロ事件、サイバー攻撃、食材偽装・・・私たちの生活に「目に見えない危険」が迫っています。世界中で、人びとの怒り、泣き、叫ぶ姿が、連日私たちにも伝えられます。大きな被害は目に見えるのに、なぜ対策がとれないのか、どうして悲劇は続くのか。「真犯人」が見えない時代です。この「不安な時代」に、どう対応したらいいのでしょうか。即効薬は見つかりませんが、いま世界に見える新しい潮流をさぐり、危機に立ち向かう発想などを紹介して、皆さんとともに考えていきたいと思います。

〈講師紹介〉 あさい やすのり

名古屋大学法学部卒業、朝日新聞社入社、インドネシア・ベトナム・中東地域の特派員を経てロンドンを本拠とするヨーロッパ総局長に就任、外報部長、国際本部長、取締役(国際担当)、平成10年から18年まで武蔵野大学現代社会学部教授、著書に『世界・日本・世界』(朝日新聞社)など。

【曜日】 土曜日(第1回・2回) / 日曜日(第3回)

【時間】 午前10:30～12:00

【回数】 3回 【定員】 40名(先着順)

【会場】 i プラザ 【単位数】 0.5単位

【受講料】 全3回 2,000円

日程	講座内容
第1回 4/12(土)	まず、世界の新しい潮流を知ろう。 21世紀に入って人びとの生活が劇的に変わった。 世代間格差も大きくなった。
第2回 5/10(土)	とにかく、情報を集めよう。 膨大な量を分析し仕分けろ、本物の考え方を身につけよう。 なによりも、みんなが「ジャーナリスト」になろう。
第3回 6/15(日)	そして、身の回りに「話し合いの場」を持とう。 家族、仕事・会社、地域、それぞれの仲間と意見を交換しながら、知恵を創り出そう。

講座 No.2 「漢方薬」と配合される「生薬」 ～多面的な作用とその特徴～

〈講師〉 山田 陽城 北里大学 名誉教授

三巻 祥浩 東京薬科大学 教授

黒田 明平 東京薬科大学 講師

〈講座内容〉

生薬とは、原料となる植物や鉱物、動物をそのまま、もしくは乾燥などの簡単な処理を行って、医薬品としたものです。生薬や薬用植物から数多くの新薬が開発されましたが、一方でいくつかの生薬を混合して用いられる漢方薬も現代医療の中で重要な役割を果たしています。漢方薬と新薬との相違、生体全体に対する修復作用や新薬の補完的作用が期待される漢方薬の多面的な作用や特徴、各々の漢方薬に配合される複数の生薬の役割、最先端の科学により解き明かされた漢方薬の作用メカニズムや作用成分などについて、講義や実験を通じ、その基礎から最前線までを紹介します。また、漢方薬と民間薬、機能性食品との相違、漢方薬の原料生薬をとりまく課題についても、実例をあげて解説します。

【定員】 40名(先着順)

【講座回数】 6回

(7月の講座は2こまの3時間講義として行います)

【受講料】 全6回 4,000円 【単位数】 1単位

日程	時間	会場	講師	内容
第1回 4/12(土)	13:30～15:00	i プラザ	山田先生	漢方薬や漢方医学の特異な特徴を新薬や現代医学と比較するとともに、現代医療における漢方薬の役割を解説します。
第2回 5/10(土)	13:30～15:00	i プラザ	三巻先生	漢方薬に用いられる代表的な生薬の実物を観察しながら、薬効や副作用などに関する話題をわかりやすく解説します。
第3回 6/14(土)	13:30～15:00	i プラザ	黒田先生	漢方薬と民間薬、機能性食品との相違、漢方薬の原料生薬をとりまく課題について、実例をあげて解説します。
第4回 第5回 7/12(土)	14:00～17:00	薬科大	三巻先生 黒田先生	かぜ(風邪)に用いられる代表的な漢方薬を煎じて、それらの味や香りを体感し、漢方薬に関する理解を深めます。
第6回 8/ 9(土)	13:30～15:00	i プラザ	山田先生	漢方薬の効くメカニズムや薬効に関与している成分について、最新の研究成果を踏まえてわかりやすく解説します。

※7月の薬科大では実習室をお借りしての漢方薬の調合・製薬実習も行います。

〈講師紹介〉 やまだ はるき

1975年東京薬科大学大学院薬学研究科博士課程修了(薬学博士)後、カリフォルニア大学バークレー校に留学。以後北里研究所付属東洋医学総合研究所基礎研究部長、同部長、研究部門長、WHO伝統医学協力センター長、北里大学北里生命科学研究所教授、同大学院感染制御科学府長、同北里生命科学研究所所長等を歴任。2013年北里大学名誉教授。専門は和漢薬物学。Lifu Academic Award for Chinese Medicine(国際賞)、和漢医薬学会賞、日本生薬学会賞などを受賞。現在、特定非営利活動法人DNDi Japan理事長、公益財団法人日本薬剤師研修センター特別顧問など。

〈講師紹介〉 みまき よしひろ

1990年東京薬科大学大学院博士課程修了、薬学博士、2005年より現職、日本生薬学会学術貢献賞などを受賞。専門は生薬・天然物化学、漢方薬物学

〈講師紹介〉 くらだ みんぺい

1994年東京薬科大学大学院修士課程修了、1999年博士(薬学)、2003年より現職、日本生薬学会学術奨励賞などを受賞。専門は生薬・天然物化学

講座 No.3 「倒産^初」の身の丈起業

〈講師〉 前田 隆正 電気通信大学 客員教授

〈講座内容〉

「会社を辞めたら社長になろう」というフレーズが三鷹にあります。社長をやると、精神衛生上ストレスがなくなります。また、定年もなく、毎日が楽しく、元気になります。三鷹のSOHOの社長さんは生き生きとして輝いています。それを実現する講座です。三鷹市では、中小の製造業の多くが廃業や市外移転をし減少しています。1998年7月、三鷹市は『SOHO CITYみたか』を掲げ、製造業に代わる事業として他都市に先駆けICTを基盤としたSOHOの身の丈起業を支援してきました。これが三鷹の潰れないSOHO500社です。これらの起業は、①出来る限りお金を使わないで起業②ICTを活用する③初年度から黒字にするということに厳格に守っていただいているから、潰れることがないのです。

※ICT: Information and Communication Technology 情報通信技術のこと

〈講師紹介〉 まえだ たかまさ

電気通信大学卒業後、NTT、日本無線、INSエンジニアリング、ジャパンシステム社長などを歴任。1998年SOHO CITYみたか推進協議会会長として「SOHOベンチャーカレッジ」を開設。2006年「Japan Venture Awards2006」起業支援家部門・経済産業大臣賞受賞。2007年電気通信大学大学院で「SOHOの研究」で学術博士。現在、(株)まちづくり三鷹取締役、電気通信大学客員教授など兼務。著書に『身の丈起業塾』(光文社)、『個人事業からはじめる独立・起業マニュアル』等。

【曜日】 日曜日 【時間】 午前10:00～11:30

【回数】 3回 【会場】 地域振興プラザ 【定員】 50名

【受講料】 全3回 2,000円 【単位数】 0.5単位

(先着順)

日程		講座内容
第1回	4/20 (日)	「身の丈起業」の実際 ～若者も、主婦も、定年後でも社長になれる～
第2回	5/18 (日)	「身の丈経営」 ～夢をかなえるノウハウ(その1)～
第3回	6/22 (日)	「身の丈経営」 ～夢をかなえるノウハウ(その2)～

講座 No.4 日本の「さくら」と身近な植物

〈講師〉 石川 晶生 玉川大学 名誉教授

〈講座内容〉

我が国には花見の文化があります。さくらは日本人にとって特別の意味合いがあり、日本を代表する花でもあるのです。稲城市にも多くのさくらが植栽されていて、毎年の春爛漫を演出してくれます。この講座では、さくらについての基本的な構造や身近に観られる植物の話をししながら、自然に親しんでもらいたいと思います。また生きる樹木の姿をとおして、植物の不思議についても考えてみましょう。そのことから樹木の手入れや剪定方法もわかってくるでしょう。さらに樹木の姿から健康状態がわかるともっと興味がわいてきます。

〈講師紹介〉 いしかわ あきお

東京生まれ。玉川大学農学部・同大学院農学研究科修了。樹木医。環境再生医(上級)。日本さくら学会副会長。元玉川大学リベラルアーツ学部長。主な著書に「さくら百科」(丸善)、「生命と自然」(玉川大学出版部)等。

【曜日】 日曜日 【時間】 午後1:30～3:00

【回数】 6回 【会場】 地域振興プラザ 【定員】 50名

【受講料】 全6回 4,000円 【単位数】 1単位

(先着順)

日程		講座内容
第1回	4/20 (日)	身近な植物学 植物のかたちと分類、サクラ類の基本構造
第2回	5/18 (日)	桜並木の観察 市役所付近三沢川沿いのさくらなど
第3回	6/22 (日)	さくらの植物学① さくらの仲間、野生のサクラ類を中心に
第4回	7/20 (日)	さくらの植物学② 園芸品種を中心に
第5回	8/17 (日)	植物の生き方、さまざまな樹木のかたち
第6回	9/21 (日)	街の緑、都市の公園 樹木の手入れ・衰退度について

講座 No.5 「音楽」ってなんだろう

〈講師〉 高須 一 玉川大学 教授

〈講座内容〉

いろんな音楽を楽しんでいけるように、様々な音や音楽に実際に触れながら「音楽ってなんだろう」ということを探っていきましょう！

音楽って定義するのが難しい、不思議な存在です。でも音楽をもたない民族はいないほど音楽は人間をひきつけてやまないものです。その音楽のヒミツを、音楽の正体を探っていきましょう。もちろん、いろいろな面からその正体を明らかにしていくことができます。6回の講座はそれぞれ異なる面から音楽にアプローチします。音楽の正体をつかむことによって、様々なジャンルの音楽を楽しむようになりましょう！

〈講師紹介〉 たかす はじめ

福井県福井市生まれ。金沢大学教育学部卒業、広島大学大学院教育学研究科修了。兵庫教育大学学校教育学部助手、広島大学教育学部専任講師、同助教授、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官を経て現職。

【曜日】 土曜日 【時間】 午前10:00～11:30

【回数】 6回 【会場】 地域振興プラザ 【定員】 50名

【受講料】 全6回 4,000円 【単位数】 1単位

(先着順)

日程		講座内容
第1回	4/26 (土)	日本の耳・西洋の耳 自然の音を音楽として楽しむ日本人、雑音として聴く西洋との違いから、音楽について考えます。
第2回	5/24 (土)	音楽と時間の深～い関係 音楽は時間芸術と言われることもあります。音楽の正体について探ります。
第3回	6/28 (土)	あらずじのある音楽とない音楽 「幻想」交響曲のようにあらずじのついた音楽と番号だけの交響曲の違いを探ります。
第4回	7/26 (土)	体が動いちゃう音楽 聴くと体が自然に動いてしまう音楽の正体を探ります。ジャズを主に取り上げます。
第5回	8/23 (土)	携行する音楽 ライブやコンサートでの音楽の聴き方とアイ・ポッドやウォークマン等での聴き方の違いから音楽を探ります。
第6回	9/27 (土)	音楽は社会をのぞく窓！ 音楽で社会の変化をとらえることができます。でも社会の変化が音楽を変えていきます！

〈総合コーディネータ兼講師〉

すずき こうへい
鈴木 浩平首都大学東京 名誉教授
(振動学・稲城市民)

【曜日】土曜日 【定員】50名(先着順)

【時間】午後1:30~3:00

【会場】地域振興プラザ 【回数】6回

【受講料】全6回 4,000円 【単位数】1単位

〈講師〉 ◆ 山崎 晴雄
やまざき はるお 首都大学東京 教授
(地震学、地理学)◆ 石原 研而
いしはら けんじ 東京大学 名誉教授
中央大学 教授
(地盤工学)◆ 濱田 政則
はまだ まさのり 早稲田大学 教授
(日本学術会議会員、土木工学)◆ 芳村 學
よしむら まなぶ 首都大学東京 教授
(建築学)

〈講座内容〉

近い将来に関東直下地震や海洋型の巨大地震の襲来が予測される中で、地震や地震防災についての知識と実践が欠かせない状況になっています。この講座では地震防災の各分野の国内第一人者の講師が専門的立場から「市民のため地震防災」に必要な知識や対策について解説し、最終回には稲城市の防災管理担当者も参加した受講生主体のシンポジウムを企画しています。

※ 鈴木名誉教授が全講義の司会をつとめます。

日にち	講師	講座内容
第1回 4/26 (土)	鈴木先生 (地震防災)	地震と地震被害、地震対策の基礎知識 本連続講座の概要を述べ、各講座を理解できる地震、地震防災の基礎知識について分かりやすく説明します。
第2回 5/24 (土)	山崎先生 (地震)	誤解されている活断層 一風評を排除して真の防災を進めようー 現在日本を代表する地震学者が、「怖い」と恐れられている活断層についての風評の問題を指摘し、地震防災の立場から立川断層など多摩地域の活断層へ理解を深めます。
第3回 6/28 (土)	石原先生 (地盤)	地震時の液化化と多摩地域の地盤の安定性 世界地盤工学会の会長をされ、日本学士院賞に輝く講師が、地盤液化化のメカニズムと被害例を説明し、特に多摩地域に多い「稲城砂」の特徴と造成地への影響について解説します。
第4回 7/26 (土)	濱田先生 (インフラ)	首都圏直下地震と社会基盤施設の地震防災対策 NHKの「クローズアップ現代」などマスコミでも頻りに活躍されている講師が緊急課題とされている首都直下型の大地震に対する道路、鉄道、ライフライン、コンビナートなど社会基盤施設の弱点とその防災対策について解説します。
第5回 8/23 (土)	芳村先生 (免震)	地震と建築 ー安全な建築物を目指してー 建築研究所や首都大学で建築物の耐震技術について実績をあげ、現在、国際地震工学会の事務局長(secretary)の任にある講師が市民に関心が深い現在の建築物、特に高層ビル等の耐震性の評価と補強技術などについて明らかにします。
第6回 9/27 (土)	鈴木先生	シンポジウム「稲城市民と地震防災」 5回にわたる各分野での地震防災に関する講義を総括してその中から私たち市民がなすべき課題は何か？ また、地域や家庭で実施できる対策は？など身近な問題を討論によって明らかにしようとする受講生参加のシンポジウムです。稲城市の防災担当者からも問題の提起をしていただく予定です。

〈講師〉 安原 眞琴 立教大学 兼任講師

【曜日】土曜日 【定員】40名(先着順)

【時間】午前10:00~11:30

【会場】iプラザ 【回数】3回

【受講料】全3回 2,000円 【単位数】0.5単位

〈講座内容〉

歌舞伎、落語、浮世絵など、海外でもよく知られた「日本文化」がたくさんありますが、これらの多くは江戸時代に誕生し流行した「江戸文化」なのです。では、これらがどのように誕生したのかご存知ですか？ それを知ることで、展覧会や観劇に行った時に、より楽しむことができます。また、7年後に東京でオリンピックが開催されますので、日本文化は今まで以上に国内外の人々に注目されると思います。この機会に、知っているようで知らなかった日本文化に出会ってみましょう。

〈講師紹介〉 やすはら まこと

東京生まれ。文学博士(立教大学)。立教大学、法政大学兼任講師。主な著書、映画は、『超初心者のための落語入門』(主婦と生活社)、『最後の吉原芸者四代目みな子姐さん(ドキュメンタリー映画)』(2013年DVD発売、順次公開中)など。

日程	講座内容
第1回 7/12(土)	風流の時代 (舟木本「洛中洛外図屏風」を中心に)
第2回 8/9(土)	二大悪所の誕生 (歌舞伎と遊里)
第3回 9/13(土)	江戸文化の開花、展開 (落語、浮世絵など)